

健康の定義：スピリチュアル

- 世界保健機関(WHO)は「健康とは、完全に、**身体、精神**、および**社会的**によい(安寧な)状態であることを意味し、単に病気でないとか、虚弱でないということではない」と定義している。ここの精神は、**mental**:精神の、心的な、知的なに相当する。
- しかし、WHOは1999年の総会で新たに「健康」の定義を以下のように提案し、その内容を論議した。新たに、**スピリチュアル**(**spiritual**:精神的な、靈的な、知的な)と**動的な**(**dynamic**)が加わり検討された。すなわち、「健康とは、完全に、**身体、精神、スピリチュアル**および**社会的**によい(安寧な)**動的な**状態であることを意味し、単に病気でないとか、虚弱でないということではない」。この定義は決着していない。

東京都の大地の**80%**が**建物とアスファルト**などの舗装でおおわれていることを、ご存じか？

今から47年も前だろうか、**NHK**で「**現代の映像**」という番組があった。東京のある小学生が**自閉症**になった。家から学校まで**土壌**がないうえ、**運動場**は**コンクリート**でおおわれていた。医者通いが始まった。医者**の治療**は簡単だった。毎日数時間、**土壌**や**粘土**をこねさせ続けたのだ。小学生は数ヶ月(記憶が**不正確**)で治癒した。

Soils play the important role for an autistic child.

土壌と保育園児

子育ての中で、**土壌との触れ合い**を重視している保育園がある。赤ちゃんを裸足にして山の斜面に腹這いにさせておく。爪先が地面につくので、ける力や踏ん張る力がついてくる。手は自由なので草や花や砂を口に入れる。叱らない。この保育園では、**裸足にし太陽にあたり**、これらの自然の**生き物を肌で感じ脳を刺激し**子どもの発達をうながすという。話すことも歩くこともできなかったこの保育園の2歳と10ヶ月のノンちゃんが、運動会で自力でゴールインした感動的な実話がある。

大仁農場での話: our story

- **自殺の場所**を求めてさまよっているうちに、大仁の洋風公園にきた。この公演を眺めているうちに気持ちが変わった。後日、息子さんと挨拶に来た。「**私の命はこの農場のお陰で守られました。生きる力が湧いてきたのです**」。
- **自律神経失調症でうつ病**になったスタッフ。大仁農場に異動。毎日の手作業での除草、畑仕事。**土に触れ、草木に親しみ、鳥や蝉の声に**慰められ、胸元に吹き込む**風**、今まで味わったことのない心境を体験。半年後には完全に**うつ病が解消**。